

作成年度
------

平成30年度
--------

森林整備加速化・林業再生基金  
変更事業計画書

区分:復興木材安定供給等対策

区分:強い林業・木材産業構築緊急対策

区分:林業成長産業化総合対策

福 島 県

## 第1. 基本的事項

### 1. 都道府県の森林整備及び林業・木材産業の現状と課題

本県の森林面積は、97万5千haで県土面積の約71%を占め、うち民有林については56万7千haで森林全体の58%となっており、全国有数の森林資源を有している。  
しかし、東日本大震災に伴い発生した原子力発電所事故によって放出された放射性物質により、森林が広範囲に汚染されているため、森林所有者の経営意欲の減退や被ばくへの不安等から、森林整備が停滞し、森林の公益的機能の低下が懸念され、森林・林業の再生が緊急の課題となっている。  
また、本県の森林のうち民有人工林については、20万7千ha(人工林率:36%)で、10齢級以上の森林が11万8千haで人工林の57%を占め、利用可能な資源が充実しつつあることから、適正な森林管理や木材利用の推進が必要となっている。さらに、間伐が必要な3～9齢級の森林についても8万6千haであることから、計画的な間伐とともに、間伐材の積極的な活用が重要となっている。

### 2. 施策の基本方針

本県独自の事業として、放射性物質によって森林が汚染され、間伐等の森林整備が大幅に停滞しているため、「ふくしま森林再生事業」により間伐等の森林整備と放射性物質対策を一体的に推進する。  
また、放射性物質の影響が比較的少ない地域の森林については、「森林整備加速化・林業再生基金等」を活用し、森林整備のための路網整備を積極的に推進する。  
さらに、「ふくしま森林再生事業」及び「森林整備加速化・林業再生基金等」による間伐材等の利活用を推進するため、新技術により木材需要の拡大を図るとともに、安定的・効率的な県産材の生産・供給体制を整備することにより、持続的な林業経営の確立に取り組む。

### 3. 地域材の需要拡大と安定的・効率的な生産・供給体制の構築等に関する考え方

県産材の需要拡大については、充実しつつある森林資源や、森林整備に伴い供給される間伐材の利活用を図るために不可欠であることから、木材利用の民間住宅等への波及効果が大きな公共施設において、木造化や内装木質化をさらに推進する。  
また、CLTをはじめとする新技術の開発や実証を行い、一層の普及に努めるほか、木質バイオマスの利用促進に積極的に取り組むことで、新たな木材需要の創出を推進する。  
安定的・効率的な県産材の生産及び供給体制の確立については、計画的な林内路網の整備を行うとともに、高性能林業機械の導入を一層推進することにより、林業生産基盤の強化を図る。  
併せて、多様な木材需要や木材利用に関する新技術に適時適切に応えるため、必要な木材加工施設の整備を促進するほか、計画的かつ安定的な森林資源を供給できる素材流通体制の構築に努める。

### 4. 復興に必要な木材の安定供給に対する考え方(復興木材安定供給等対策を実施しない場合は省略可)

東日本大震災からの復興に必要な建築材料や木質バイオマス等を安定供給するためには、効率的な県産材の生産・供給に向けた生産基盤の強化が不可欠であることから、計画的な路網整備や必要な高性能林業機械の導入等を推進する。  
また、復興住宅や公共施設の復旧における多様な木材需要に応えるため、木材加工流通施設等の整備を積極的に推進する。

## 4. その他

本県の森林・林業・木材産業については、原子力発電所事故に伴って放出された放射性物質の影響によって様々な課題が山積しているが、これらを解決するため、森林整備加速化・林業再生基金を活用し、川上から川下までの総合的な支援に取り組む。

## 第2. 全体目標及び事業実施期間等

### 1. 全体目標

全体指標	目標設定の考え方	現状値			目標値			備考
		数値	単位	年度	数値	単位	年度	
間伐実施面積								
間伐材利用量	福島県農林水産業振興計画に掲げる間伐材利用量(民有林)	75,000	m3	H25年度	472,000	m3	H33年度	
素材生産量	福島県農林水産業振興計画に掲げる素材生産量	750,000	m3	H25年度	1,287,000	m3	H31年度	
地域材の利用量	福島県林業・木材産業構造改革プログラムに掲げる木材利用量	854,000	m3	H25年度	1,039,000	m3	H31年度	

(注)

- 変更前の目標等については、それぞれの欄の上段にカッコ書きで記入すること。
  - 間伐実施面積については、本事業による間伐面積とし、目標年度は事業完了年度を原則とする。(復興木材安定供給等対策を実施する場合のみ記載することとし、それ以外の場合は省略可)
  - 間伐材利用量については、事業を計画するエリアにおける間伐材利用量とし、目標年度は事業完了年度の翌年度から3年目を原則とする。(復興木材安定供給等対策を実施する場合のみ記載することとし、それ以外の場合は省略可)
  - 地域材の利用量については、本事業における地域材の利用量とし、目標年度は事業完了年度の翌年度から3年目を原則とし、当該指標が設定できない都道府県においては、本対策において実施するメニューの個別指標を記載する。
  - その他、設定すべき指標がある場合は、追記すること
- \* 行については、適宜加除のこと。

### 2. 事業実施期間等

	区 分	事業実施期間等
基金存続期間	—	基金の終期を削除 まで
事業実施期間	復興木材安定供給等対策	(平成29年度) 平成30年度 まで
	強い林業・木材産業構築緊急対策	平成29年度 まで
	林業成長産業化総合対策	平成29年度 まで
	森林整備加速化・林業再生対策	— まで

### 第3. 基金保有額及びメニューごとの事業費等

#### 1. 復興木材安定供給等対策

##### (1) 基金保有額

(単位:円)

財 源	交 付 額	運 用 益	基 金 へ の 返 還 額	基 金 へ の 納 付 額	前年度までの執行額(実績)	国 庫 返 還 額	基金残額
平成23年度 補正予算 (第3号)	3,600,000,000	10,374,303			1,950,232,630		1,660,141,673

##### (2) メニューごとの事業費等

(金額の単位:円)

事業実施年度	平成28年度		
	数量	基金事業費	備考
1. 地域協議会の運営、調査・調整、計画作成、普及等	—	57,666,000	
2. 間伐等	ha		
3. 林内路網整備	m	33,600,000	
4. 森林境界の明確化	ha	18,900,000	
5. 高性能林業機械等の導入	台	159,697,000	
6. 木材加工流通施設等整備	施設	1,285,828,673	H30年度への事故繰越額 145,537,000円
7. 木質バイオマス利用施設等整備	施設	104,025,000	
8. 流通経費支援	m <sup>3</sup>		
※指導等事業	—	425,000	
合 計 (a)	—	1,660,141,673	H30年度への事故繰越額 木材加工流通施設等整備 145,537,000円

注1) 基金事業費は国費のほか、運用益等を含めた額を記載すること。

注2) 「地方負担額」は、都道府県及び市町村の負担額を記載すること。

### 第3. 基金保有額及びメニューごとの事業費等

#### 2. 強い林業・木材産業構築緊急対策

##### (1) 基金保有額

(単位:円)

財 源	交 付 額	運 用 益	基 金 へ の 返 還 額	基 金 へ の 納 付 額	前年度まで の執行額 (実績)	国 庫 返 還 額	基金残額
平成24年度 補正予算 のうち 整備費補助 金に係る分	1,413,945,000	1,534,683			1,318,816,425		96,663,258

##### (2) メニューごとの事業費等

(金額の単位:円)

事業実施年度 メニュー	平成28年度		
	数量	基金事業費	備考
1. 木材加工流通施設等整備	施設		
2. 木造公共施設等整備	1	96,663,258	
3. 木質バイオマス利用施設等整備	施設		
※指導等事業	—		
合 計 (b)		96,663,258	

注1)基金事業費は国費のほか、運用益等を含めた額を記載すること。

注2)「地方負担額」は、都道府県及び市町村の負担額を記載すること。

第3. 基金保有額及びメニューごとの事業費等

3. 林業成長産業化総合対策

(1) 基金保有額

(単位:円)

財 源	交 付 額	運 用 益	基金への返還額	基金への納付額	即年度までの執行額 (実績)	国 庫 返 還 額	基金残額
平成21年度 補正予算	3,100,000,000	5,897,179			2,597,696,486		508,200,693
平成22年度 予備費	468,000,000	492,521			467,399,050		1,093,471
平成22年度 補正予算	300,000,000	283,829			299,999,950		283,879
平成23年度 補正予算 (第4号)	174,950,000	454,189			115,387,000		60,017,189
平成24年度 補正予算 (整備費補助金を除く)	277,590,000	454,510			180,728,000		97,316,510
平成25年度 補正予算	136,000,000	965			134,242,289		1,758,676
合 計	4,456,540,000	7,583,193			3,795,452,775		668,670,418

(2) メニューごとの事業費等

(金額の単位:円)

事業 メニュー	平成28年度			
	数 量	基 金 事 業 費	備 考	
1. 地域協議会の運営、調査・調整、計画作成、普及等	—			
2. 木造公共施設等整備	5施設	420,237,418	平成21年度補正予算	
3. 木質バイオマス利用施設等整備	件 件 件			
4. CLT等新製品・新技術の実証・展示 加速化対策	内 訳	1件	247,634,000	平成21年度補正予算
			87,963,275	平成22年度予備費
			1,093,471	平成22年度補正予算
			283,879	平成23年度補正予算(第4号)
			60,017,189	平成24年度補正予算
			96,517,510	平成25年度補正予算
5. 木材加工流通施設等整備	施設			
6. 木材の効率的な供給に向けた路網整備	m			
7. 森林境界の明確化	ha			
8. 高性能林業機械等の導入	台			
9. 原木しいたけ再生回復緊急対策	1件 件	799,000	平成24年度補正予算	
※指導等事業	—			
合 計 (c)	—	508,200,693	平成21年度補正予算	
	—	1,093,471	平成22年度予備費	
	—	283,879	平成22年度補正予算	
	—	60,017,189	平成23年度補正予算(第4号)	
	—	97,316,510	平成24年度補正予算	
	—	1,758,676	平成25年度補正予算	
	合 計		668,670,418	

注1) 基金事業費は国費のほか、運用益等を含めた額を記載すること。

注2) 「地方負担額」は、都道府県及び市町村の負担額を記載すること。

※行については、適宜追加すること。

### 第3. 基金保有額及びメニューごとの事業費等

#### 4. 森林整備加速化・林業再生対策

##### (1) 基金保有額

(単位:円)

財 源	交 付 額	運 用 益	基 金 へ の 返 還 額	基 金 へ の 納 付 額	前年度までの執行額(実績)	国 返 還 庫 額	基金残額
平成26年度 補正予算							

##### (2) メニューごとの事業費等

(金額の単位:円)

事業実施年度 メニュー	平成27年度		
	数 量	基 金 事 業 費	備 考
1. 木質バイオマス発電施設整備	施設		
※指導等事業	—		
合 計 (d)	—		

注1)基金事業費は国費のほか、運用益等を含めた額を記載すること。

注2)「地方負担額」は、都道府県及び市町村の負担額を記載すること。

#### 4. 基金事業費総額

区 分	基 金 事 業 費	備 考
復興木材安定供給等対策 (a)	1,660,141,673	うち、H30年度への事故繰越額 145,537,000円
強い林業・木材産業構築緊急対策 (b)	96,663,258	
林業成長産業化総合対策 (c)	668,670,418	
森林整備加速化・林業再生対策 (d)		
基金事業費総額 (a+b+c+d)	2,425,475,349	うち、H30年度への事故繰越額 145,537,000円